令和5年度 川崎小学校重点目標達成に向けた行動計画

重点目標	行動計画	担当	行動指針・目標値 <i>斜体の数値は昨年度のアンケート結果</i>
【1】 保護者・地域との連携・協働で、特色ある教育活動と安心安全な学校づくりを進めます。	1. 学校運営協議会を中心とした保護者や地域に開かれた学校運営	麻生	地ア1「地域とともにある学校づくり」A評価70%以上 <i>A評価72.7% 肯定的評価90.9%</i> 保ア1「地域とともにある学校づくり」A評価70%以上 <i>A評価68.4% 肯定的評価98.7%</i>
	①学校運営協議会における情報共有と熟議	麻生	・学校運営協議会の開催：年7回 ・会議終了後、教職員へ事項書、議事録の回覧
	2. 川崎の歴史・文化・人材を最大限に活用した地域関連学習の充実	麻生	地ア2「地域学習・地域参画」A評価70%以上 <i>A評価63.6% 肯定的評価86.4%</i> 保ア2「地域学習・地域参画」A評価60%以上 <i>A評価59.7% 肯定的評価97.0%</i> 児ア20「郊外の人やモノに出会う学習」A評価70% <i>A評価67.6% 肯定的評価94.1%</i> 保ア1「地域とともにある学校づくり」A評価70%以上 <i>A評価 68.4% 肯定的評価98.7%</i>
	①地域関連学習の充実	麻生	・ <u>地域連携推進委員会を定期的（月1回）開催。</u> 組織的な地域連携をすすめる。 ・ねらいを明確にした年間計画の作成と提示 提示対象：まち協、学校運営協議会、共有ゾーン活用推進委員会 ・活動対象学年担任を交えた定期的な打ち合わせ ・地域で得た教材を学年へ提示、相談

	②ゲストティーチャーの活用	麻生	・学習目的を明確にした上での地域ゲストティーチャーの積極的な応援依頼 ・学習に応じた新しい人材の発掘 ・定期的な打合せの設定
	③教員研修（地域教材について）フィールドワークの実施	石倉	・教職員が地域教材についての理解を深める研修の実施：夏季休業中を予定
	④-1 フレンドリー農園の活用*教職員	米川	・フレンドリー農園の活用に向けた年間計画（学期もしくは季節）の作成と提示
	④-2 フレンドリー農園の活用、体験活動の充実 *児童	米川	・学習目的を明確にした上でのフレンドリー農園での体験活動 - 各学年：1作物以上を栽培、草取り等作業1回以上 - 内容：植え付け体験、収穫体験、調理体験、収穫物の農芸祭出品

⑤通信やHPによる地域学習の成果の発信	麻生 校長	・学年通信、HPによる活動内容の発信 学年通信（各学年）：年間3回以上 学校だより（校長）：随時 HP：随時
⑥地域行事や運動会での「かんこ踊り」披露（中学年）	江崎	ふれあい文化祭、熟年の集い、運動会、川崎ふれあいフェスタでの披露
3. 保護者・地域とともに作り上げる学校諸活動と地域行事等へ参加、貢献	麻生	地ア2「地域学習・地域参画」A評価70%以上 <i>A評価63.6%</i> 保ア2「地域学習・地域参画」A評価60%以上 <i>A評価59.7%</i> 児ア16「地域の行事に参加」児童肯定的評価70%以上 <i>児童肯定的評価62.2% A評価32.5%</i> 児ア17「地域ボランティア」児童肯定的評価60%以上 <i>児童肯定的評価55.5% A評価25.9%</i> 児ア18「地域に役立つ人」児童肯定的評価85%以上 <i>児童肯定的評価80.5% A評価36.7%</i>
①運動会、川崎ふれあいフェスタ等の共同開催 *学校主催の行事	佐藤 麻生	・運動会 6/3実施（予備日6/4） コロナ前の全校児童一斉形式で行う 保護者・地域の参加人数の制限なし ・川崎ふれあいフェスタ（11/25予定）
② かわさきふれあい文化祭 熟年の集い かわさきふれあい収穫祭への参加 *地域主催の行事	江崎 石倉	・かわさきふれあい文化祭（日程未定） 3, 4年生かんこ踊り披露 ・熟年の集い 4年生参加 ひょうたんを加工後プレゼント ・川崎ふれあい収穫祭 さといも等の販売

③フレンドリークラブの実施 ・フレンドリークラブの実施	小濱	・年6回（前期・後期3回）実施 ・児ア8「フレンドリークラブ」児童肯定的評価90%以上 肯定的評価94.4% ・新規講師の開拓
④職員の地域行事への参加	麻生	・まち協の会議への管理職の参加 定例会年12回参加 ・防災活動やグランドゴルフ大会への職員の参加
4. 地域共有ゾーンの有効活用	教頭	・年間200回以上活用
①川崎小学校共有ゾーン活用 推進委員会の定期的開催と内容の模索	教頭	・共有ゾーンの活用状況を月末に集約、ふり返り 共有ゾーン活用推進委員会（年2回6月2月）への活用状況の報告
②「くろぼくふれあい活動」 の充実	教頭	・くろぼくふれあい活動の紹介と募集を定期的に行う。 たよりで、共有ゾーンでの活動内容を知らせたり、新規の団体を募集したりする。たより発行年間2回（1学期、3学期を予定）。保護者地域に配付。
③ボランティアさんの日常的 で積極的な活用	教頭	・ボランティアさんにお手伝いしてもらう場の模索 2階花壇ボランティア かんこおどり指導ボランティア 道具作りボランティア 1年交通安全教室ボランティア ・新規ボランティアの発掘：10人以上 ・ボランティアさんと担任との調整役となり、募集の案内、日程の調整等を行う。 ・昨年度ボランティアさんに入っていたいただいた学習を一覧にし、5月中に職員に周知。必要な場合は時期を逃さずに依頼する。
5. 地域・家庭と連携した子どもの 安心安全の確保と危機管理の充実	教頭	地ア3「地域保護者と連携した危機管理」A評価50%以上 A評価54.5% 保ア3「地域保護者と連携した危機管理」A評価50%以上 A評価57.6%

①地域、家庭と連携した交通安全、防犯訓練、引き渡し訓練の実施	教頭 林	・避難訓練 火災：年1回（5/19）地震：年1回（12月） ・ひきわたし訓練：年1回（調整中） ・メール応答訓練：年1回（12月） ・防犯訓練：年1回（調整中） ・交通安全教室 全学年1回実施 1年：通学路の安全な歩き方等（5/9） 6年：中学入学前自転車の乗り方指導1回（3月） ・まち協防犯部との連携
②安全推進委員会、子どもの安全を守る連絡会との連携	教頭	・安全推進委員会：6月、2月に1回ずつ ・子どもの安全を守る連絡会：年2回
③危機管理マニュアルの見直しと周知	教頭	・危機管理マニュアルの見直し：年1回
6. 学校情報の積極的な発信と学校公開	教頭	地ア4「学校情報の積極的な発信」A評価70%以上 A評価70.5% 保ア4「学校情報の積極的な発信」A評価70%以上 A評価68.8%
①-1 学校だより、通信等による定期的な情報発信と内容の充実	校長 各担任 教頭	・学校だより：年20回以上 ・学年通信、学級通信：それぞれ月1回程度 - 子どもの様子、活動・学習の目的、担任の思いの伝わる通信の作成 ・メール配信：随時
①-2 学校運営協議会だよりの発行	水野義	・学校運営協議会だより：4回
①-3 PTA広報誌「くろぼく」の発行	松下	・PTA広報誌「くろぼく」年5回（5月6月10月1月3月） ・教養広報部撮影の動画、写真のHP掲載

	②学校ホームページの定期的な更新	教頭 各学年 各担当	・HPの更新 <u>全員が年1回以上</u> 教頭：週2回以上 行事は、担当が翌日までに更新 ・学期末ごとに更新回数の確認 ・掲載内容の検討、情報の更新
	③学校行事や授業の公開	教頭	・授業参観の実施：年3回（4,9,2月） ・フリー参観の実施：年1回（6/20） ・学校行事 運動会6/3 竹馬チャレンジ(児童会担当より提案) 川崎ふれあいフェスタ11/25 なわとび集会（体育担当より提案）
7. 学校環境整備		教頭	地ア5「学校環境の整備」A評価60%以上 <i>A評価52.3%</i> 保ア5「学校環境の整備」A評価60%以上 <i>A評価57.1%</i>
	①子どもと教職員による定期的な環境整備活動	鈴村	・児童による環境整備活動：随時 時期に応じてその時必要な環境整備活動を提案、実施する。（草抜き、落ち葉拾いなど） ・6年生卒業奉仕作業：1回 ・職員作業の実施：年3回 学期末、学年末 草抜き、倉庫の整理等に加えその時必要なこと
	②PTAや地域への環境整備依頼	米川	・PTA環境事業部が主となる奉仕作業：年3回 (5/27 8/26 11/18) ・地域の方による芝生等の整備：随時

	③FBCを活用した学校環境整備 (2階花壇の整備含む)	服部大	・FBC花壇 ・2階花壇の年間を通した作業計画の作成、実行 ・2階花壇については花壇ボランティアさんを募集。また、PTAの奉仕作業に組み込む。 ・フレンドリー緑化事業の樹木の管理。 防草シートを敷く。 長期休暇中の水やりなど。
【2】自分と仲間を大切に する心と実践力を育む教育を進めます。	1. 組織的な子ども理解と、一人ひとりにあったきめ細やかな支援の充実	白山	児ア6「学校へ行くのが楽しい」肯定的評価90%以上 <i>A評価60.6%</i> 保ア6「きめ細やかな支援といじめのない学校づくり」肯定的評価85%以上 <i>肯定的評価80.1% A評価20.3%</i>
	①「子どもの理解を深める委員会」の定期開催と全校での情報共有	白山	・子どもの理解を深める委員会の実施：月1回 ・教育相談やケース会議の実施：必要に応じて随時
	②不登校未然防止	白山	・学期始めの児童観察 チェックリストの活用 ・教育相談やケース会議の実施：必要に応じて随時
	③虐待の早期発見に向けたチェックリストと虐待対応マニュアルの配布・周知	白山	・教育相談やケース会議の実施：必要に応じて随時 ・早期発見に向けたチェックリストと虐待対応マニュアルの配布・周知
	④健康観察、児童観察ミーティング（健康観察・出欠状況の集計と管理職等との情報共有）	安藤	・出席状況が把握でき次第、毎日実施する。

⑤特別支援学級に在籍する児童の個別の指導計画および教育支援計画の作成と成果の共有	白山	・個別の指導計画の作成と評価：年2回 ・個別の教育支援計画作成と評価：年1回（必要に応じて随時加筆修正）
⑥通級指導教室の個別の指導計画および支援計画の作成と成果の共有	宇野	・通級指導教室における指導、支援計画：学期1回（通級担任が作成） ・通級生の通常学級における指導計画：年2回（学級担任が作成） ・通級生の通常学級における支援計画：年1回（必要に応じて随時加筆修正。学級担任が作成）
<u>⑦全校が楽しいと実感できる児童会の自治的活動の実施</u>	米川	<u>児童の話し合いの中で提案された取組を実施。</u> （児童集会、たて割り班活動、～週間 など） 児童会の自治的活動：学期に1回以上
<u>⑧楽しく安心できる学級づくりへとつながる学級自治活動の実施</u>	江崎 各担任	<u>全体研修や会議の場で、SST等についての提案、推奨をする。</u> 各学級での自治的活動の実施：学期に1回以上
2. いじめを見逃さない、居心地のよい魅力ある学校（学級）づくり	江崎	地ア6「きめ細やかな支援といじめのない学校づくり」 肯定的評価85%以上 <i>肯定的評価84.1%</i> 保ア6「きめ細やかな支援といじめのない学校づくり」 肯定的評価85%以上 <i>肯定的評価80.1%以上</i> 保ア7「自分と仲間を大切にする心の育成」 肯定的評価90%以上 A評価35%以上 <i>肯定的評価90.9% A評価31.6%</i> 児ア15「いじめはどんな理由があってもいけない」 A評価85% <i>肯定的評価95.0% A評価82.7%</i>
①いじめ防止、解決に向けた組織的な対応	江崎	・日常的な観察 ・保護者からの情報提供への丁寧な対応 ・いじめ防止対策委員会の開催：月末・いじめ防止アンケート実施月

②いじめアンケートやQU調査、児童アンケートによる実態把握、児童理解	江崎	・いじめの積極的認知 ・いじめ防止アンケートの実施：学期1回実施 ・QU調査の実施：1学期、2学期に実施 ・心のポストの設置 2週間に1回程度チェック。児童の悩み、困り感に対応。
③いじめトラブルを見逃さない児童観察、居心地のよい学校・学級づくり	江崎	・児童による自治的な活動の充実 いじめ防止月間の設定、全校での取り組み：年2回（4月11月） ・各学級での学級集会活動の充実 ・自他を認め合う場の設定 ・学級づくりの資料を4月職員会議で提案、時期に合わせて資料を提供
3. 確かな人権感覚と豊かな情操の育みによる自己肯定感の向上	山下	児ア7「学校の行事は楽しい」 A評価70%以上 A評価68.7% 肯定的評価94% 児ア12「自分には良いところがある」 肯定的評価80%以上 A評価37.0% 肯定的評価76.9% 児ア13「家族、先生、友達は認めてくれる」 肯定的評価90%以上 A評価49.5% 肯定的評価87.9% 児ア14「困っていたら助ける」肯定的評価90%以上 A評価41.9% 肯定的評価87.3% 保ア8「活動や取組による自己肯定感の育成」 A評価40%以上 A評価31.6% 肯定的評価87.4%
①人権カリキュラムの見直し	山下	・人権教育カリキュラムの作成：4～5月 ・人権教育カリキュラムの進捗確認・教材や実践の交流：長期休み中 ・人権教育カリキュラムの見直し：2～3月

②人権カリキュラムに基づいた確実な実践人権感覚の育成	山下	・人権教育カリキュラムの実践 人権集会（12月） 人権標語作り（11月） 人権フォーラム 学級SST ・人権教育推進委員会の開催：年3回 ・カリキュラムの実施状況把握と実践交流 ・人権にかかわる研修会 ・保護者への啓発 <u>授業参観で人権にかかわる授業を行う。</u>
③児童の人権感覚、認知、行動の把握	山下	・人権アンケートの実施：年2回 ・人権アンケートの結果・分析 ・毎日の児童との関わりからの児童の状況把握・子理解等での情報共有
④多文化共生に関する学習や活動の実施	山下	・各学年での学習：年1回以上
⑤合唱を通じた仲間づくり	篠谷	・Nコン三重県大会出場 定期的な練習時間の確保
⑥栽培委員会による花壇づくり	服部大	・FBC花壇審査への参加 栽培委員を中心に花壇の作成と管理 ・フレンドリー農園の手入れ
4. 川崎小学校十か条に基づいた生徒指導	江崎	児ア9「あいさつ」児童肯定的評価90%以上 肯定的評価89.2% A評価45.6% 児ア10「言葉づかい」A適評価50%以上 肯定的評価86.7% A評価41.4% 児ア11「掃除や仕事」A評価70%以上 肯定的評価95.4% A評価65.2% 児ア25「川崎小学校十か条を守って生活する」 A評価40%以上 肯定的評価87.1% A評価32.2%

①川崎小学校十か条の児童会 目標や活動への反映	米川	・児童会目標への反映 あいさつ、時間を守る、そうじ、廊下歩行・・・ ・児童会を中心とした集中的な取り組み あいさつ運動、ろうか走りゼロ、ノーチャイムデー ・児童の自治的活動を周知する場の設定 代表委員会の実施：月1回 児童会だよりの発行
5. 保健指導・健康教育の充実と望 ましい生活習慣づくり	安藤	保ア9「健康教育や家庭での生活習慣づくり」 保護者肯定的評価A評価50%以上 肯定的評価95.2% A評価46.3%
①保健指導、健康教育の充実	安藤	・学校保健委員会の実施：年1回 ・健康診断の事前指導：随時 対象学年の児童に実施し、検査の受け方や、準備等を指導 ・担任と連携した保健指導：全学級各1回 指導内容は、保健学習に関するものや、学年の実態に応じて 学年と検討 ・保健室前掲示板の作成・更新：月1回 ・保健だよりの発行：毎月1回と、健康診断時、保健行事や感染状況に合わせて随時
②校内の衛生管理と感染症防 止対策	安藤	・基本的な感染症対策の指導：随時 ・感染予防対策のルールや基準の設定と周知・指導：随時 ・サーベイランスシステムへの入力と地域感染状況把握：毎日 ・職員室のホワイトボードに欠席者と遅刻者、欠席理由の記入、職員間で共有：毎日 ・学校薬剤師と連携し、学校環境衛生の検査（飲料水検査・照度検査・プール水検査など）の実施：随時

③睡眠を含めた生活習慣上の課題の把握と指導	安藤	・体調不良者に対する生活の様子聞き取り、生活習慣上の課題把握：随時 ・本校における生活習慣の課題や特性をつかみ、指導につなげる：随時
④学校薬剤師との連携	安藤	・薬物乱用防止教室（6年生対象）：年1回（体育科保健領域「薬物乱用の害と健康」の学習と併せて実施）
⑤家庭での生活習慣改善による生活習慣の確立	水野	・生活習慣チェックシート、お茶の間10践の実施：6月12日～6月18日、10月14日～10月20日 見ア1「同じ時刻に寝る」児童肯定的評価90%以上 肯定的評価84.7% 見ア3「平日のテレビやゲームの時間」肯定的評価65%以上 肯定的評価57.9% 見ア4「TVやゲーム時間の制限」肯定的評価70%以上 肯定的評価68.9% 見ア5「朝ごはん」A評価80%以上 A評価92.8%
⑥食教育の充実	横山	・担任と連携した食教育の実施：全学級各1回 指導内容は、各学年の実態に合わせた内容にする。 ・給食指導年間計画に合わせた掲示物の作成、更新：毎月 ・給食だよりの発行：毎月
6. 体力の向上	佐藤	見ア26「体をしっかり動かすことができる」 A評価80%以上 肯定的評価94.4% A評価72.7%
①体育の授業改善	佐藤	・楽しい、体をしっかり動かすことのできる時間確保 ・運動能力テストの活用
②外部講師による指導	佐藤	9/28、10/2、10/3に実施予定 1～4年、たんぼぼ児童を対象に、跳び箱や体ほぐしについての指導

	③児童会、委員会を主とした 体育的行事の実施	米川	・外遊びの奨励 ・竹馬チャレンジ（11/10実施予定） なわとび集会（1月実施予定）
【3】学びの基礎を 充実し、誰もがわか る主体的で対話的な 授業へ改善を進めま す。	1. 基礎学力の定着	中筋	見ア19「学校の授業が分かる」肯定的評価90%以上 肯定的評価 88.4% A評価47.0% 見ア21「わからないときにわからないと言える」 肯定的評価80%以上 肯定的評価 73.6% A評価 41.3% 保ア14「基礎学力の定着」 肯定的評価90%以上、A評価50%以上 肯定的評価 89.2% A評価35.1%
	①日々の「わかる授業」の提 供	中筋	・「川小版 学びのスタイル」の定着のための取り組み。 ・ <u>「かめやま授業デザインスタンダード」に則った日々の授業づくりの推進。</u>
	②基礎学力の定着とつまずき を改善	中筋	・必要に応じた日々の補充学習 ・補充学習（ぐんぐんタイム）：月1回 内容の充実 ・サマースクール：全学年3回ずつ。学年部・専科・本部全員で指導にあたる。 ・ <u>学期ごとの補充学習：1学期2回、2学期3回、3学期2回</u> ・学Viva、eライブラリ、「わかる・できる・育成カリキュラム」等の活用（eライブラ リ：年間一人120回以上ログイン） ・県、市作成のワークシートを日常的な指導・家庭学習において月2回以上活用。
	③外国語教育の充実	橋本	・デジタル教科書の活用 ・ALTや担任と連携した授業づくり
	2. 「書く力」・「読む・読み取る 力」の育成と「ふり返し活動」の充 実	中筋	見ア24「考えをしっかりと書く」肯定的評価90%以上 肯定的評価89.5% A評価51.2%

①全教科における「めあて」「ふり返り」の質の向上	中筋	・研修会の実施 「 <u>亀山市学力向上推進計画（第4版）</u> 」を全体研修会で周知し、実現に向けて取り組む。
②「読む・読み取る力」「書く力」の育成	中筋	・学力調査やみえスタディ・チェックを活用した授業改善 ・各単元において、複数回、読んだこと・読み取ったこと書く活動を授業に組み入れる。 ・国語科と他教科等の学習活動のつながりを意識し、教育活動全体を通して、正しく読む力・読み取る力を育む。 ・ <u>「よむ×よむ」の学習活動を日常の授業や指導計画に位置づけ、週1回以上の実施する。</u>
③算数・数学的活動の充実	中筋	・ <u>「マス×マス」の学習活動を組み込んだ授業実践を週1回以上実施する。</u>
3. 「主体的・対話的」な活動の展開と「深い学び」を実現する授業改善	石倉 中筋	児ア22「自分の考えを伝える」肯定的評価80%以上 肯定的評価77.7% 児ア23「しっかり聞く」A評価60%以上 A評価54.5% 教11「対話的な授業づくり」A評価70% A評価69.0% 教12「学習活動の充実」教職員A評価60% 教職員 A評価51.7%
①子どもが主体的に取り組み、子ども同士の対話を通じ考えを深める授業づくり研究の継続	石倉	・校内研修の実施：年6回以上 指導教諭による対話が中心となる模擬授業の提示 ・授業公開：1人1回以上
②総合的な学習の時間や生活科、体験活動を交えた教科学習における指導過程の充実	石倉	・各教科と総合的な学習、生活科、生活単元学習とのつながりを意識したカリキュラムの作成と実施

4. 1人1台端末やデジタル教科書の日常的で効果的な活用	松下	見ア27「タブレットをうまく使うことができる」 A評価80%以上 保ア15「1人1台端末の活用やICT教育」 保護者A評価50%以上
①授業における効果的な手段としての1人1台端末の使用 *指導者の力量を高める	松下	・デジタル教科書（算数、英語）の活用 ・職員研修の実施 ・ICTに関する使い方の周知、マニュアル化 ・ <u>デジタル教科書を活用した授業、思考ツールや共同編集機能を活用した授業を週1回以上実施。</u>
②学年に応じた端末利用のスキル、ネットモラルの習得 *子どもの力量を高める	松下	・1人1台端末の持ち帰り学習：一人あたり月3回以上、年間35回以上持ち帰り（2年生以上）
③オンライン授業等による不登校児童等への学習機会の保障	松下	・オンライン授業を希望する児童に対する実施
5. 読書活動の充実と読書習慣の定着	内海	読書チャレンジの実施 朝の読書（週2回） 親子読書（ファミリー読書リレー）の実施 年間貸出冊数100冊以上
①読書活動の充実	内海	貸出冊数年間100冊 ・学校司書や学校アドバイザーと連携した読書指導 ・読書チャレンジへの積極的取組と学期末ごとの達成率の把握 ・並行読書 教科学習における図書館活用
②読書習慣の定着	内海	・朝読の実施：週2回 ・親子読書（ファミリー読書リレー）の実施

	6. 家庭学習と自主学習の習慣化	中筋	保ア13「望ましい学習習慣の育成」A評価40%以上（年2回の調査）肯定的評価 88.7% A評価32.0% 児ア2平日の家庭での学習時間」肯定的評価70%以上（音読カード等に記録） 肯定的評価70.5% A評価27.8%
	①望ましい家庭学習の習慣化	中筋	・家庭学習の手引きの見直しと保護者への周知 全家庭へ配布、HPへの掲載 ・家庭学習の手引きを活用した年間を通じた指導 ・学習時間の把握 音読カードに学習時間を記録 生活習慣チェックシートの実施
	②自主学習の習慣化	中筋	・自主学習の見本の提示 ・自主学習ノートの良い例の掲示
【4】教職員が子どもたちの教育実践に力を発揮できる環境づくりを進めます。	1「明るく、仲良く、元気よく」校務に取り組む職場風土	教頭	教ア17「明るく仲良く元気よく校務に取り組む職場風土」 A評価60% A評価37.9% 肯定的評価86.2%
	①校務の分担、仕事の分かち合い	教頭	・1学期末に教職員アンケートの実施 ・「気づきふり返しシート」により業務の見直し、改善 ・衛生委員会で業務が一時に重なっている職員がいないかなど勤務状況を確認、校務分担の見直しを行う。
	②対話と学び合いを重視した教職員集団づくり	校長	・話しやすい雰囲気づくり：随時
	③授業づくり、学級づくりにおける教員力アップ	石倉	・OJTの実施：年4回以上 教ア18「互いに学び合う研修」A評価70% A評価64.5%

2. 月45時間、年間360時間の時間外勤務上限遵守と休暇取得の促進を図ります。	教頭	教ア16「総勤務時間縮減」肯定的評価60%以上 肯定的評価48.3%、A評価6.9%
①時間外労働時間の削減	飯田	・1人あたりの月平均時間外労働時間目標25時間以下 ・月45時間、年360時間を超える時間外労働者数0人 ・全体定時退校日の設定月2回、個人定時退校日の設定月2回 ・安全衛生委員会の開催：2か月1回
②年休取得促進	教頭	・1人あたりの年休取得昨年度比1日増：目標13日
③会議時間の短縮	教頭	・各種研修会、部会、学年会、子理解、地域連携員会は60分以内で終了 ・事項書等の事前配付
④会議資料のペーパーレス化	教頭	・PCのローカルドライブに情報を保存せずネットワークドライブでの情報管理を進める。 ・会議（職員会議・2部会）の資料は、ネットワークドライブかクラウド上（ロイロノート）での共有 ・市からの研修会等の案内は、校務支援システムの掲示板機能を活用
3. 学校ボランティア導入による業務負担軽減を図ります。	教頭	
①学校ボランティア導入による業務負担軽減	教頭	・学校ボランティアの定期的発掘：新規ボランティア10人以上
4. 校務支援システム導入・運用による事務の効率化	教頭	

	①スムーズな導入、運用のための職員へのわかりやすい周知	教頭	・管理者による事前の確認、説明会等の設定
4. 服務規律、法令順守意識の向上、ハラスメントの防止を図ります。		校長	教ア19「法令順守・ハラスメントの防止」 教職員肯定的評価A評価60%以上 教職員肯定的評価A評価52.2% 肯定的評価96.6%
	①法令順守、服務規律の徹底と信用失墜行為の未然防止	校長	・職員会議・打ち合わせ等を通じた継続的な注意喚起（具体例を挙げてペーパーで）
	②ハラスメント防止研修会の開催と相談窓口の設置	校長	・研修会の実施：年1回